



支えあう、住みよい社会 地域から

民児協いんざい

印西市民生委員児童委員協議会 【第3号】発行 / 令和4年11月



皆さん、こんにちは！！

現在、印西市には**133名**の民生委員児童委員がおり、
私たち委員は所属する各地区協議会で情報を交換・共有をしながら
住民の皆様に寄り添うべく様々な活動をおこなっております。
第3号では、地区民児協の活動をさらにご理解いただけるよう
各委員の活動内容やそれに掛ける想いを紹介します。

地区民生委員児童委員の活動

木下・小林地区 (活動歴15年)



新型コロナウイルス感染症の流行により大きく変化した世の中になり暗中模索の日々が続いている。「マスクの下にも笑顔で！」を心掛けながら、まずは挨拶。ようやく色々な活動やイベントが再開し始めたので、これまで不足を感じていた社協や他団体との連携を強めることで、地域住民の皆さんとのコミュニケーションを深めたい。

大森・永治地区 (活動歴3年)



高齢者の方の中には外からの情報を手に入れることが難しく介護保険についてよく知りません。どのようにサービスを利用したらいいのかわからない方が多数いらっしゃいます。そのような方を高齢者福祉課や地域包括支援センターに連絡し援助の手を差しのべてもらい、一人でも多くの高齢者の支援につなげたいと思います。

船穂・そうふけ地区 (活動歴1年4か月)



印西市で生まれ育った私は、地域の方々とのコミュニケーションを楽しんだり、互いに声を掛け合い支え合うことで温かい気持ちになる経験をたくさんしてきました。主任児童委員としての活動は、地域の皆様へご恩返しできる機会と考えています。船穂・そうふけ地区民児協の一員としてお役に立てたらありがたいと思います。



気軽に声かけください



地区民生委員児童委員の活動

中央北地区(活動歴9年)



民生委員は何か資格や特別な技術を保持しているわけではない。あくまでもつなぎ役である。私が扱ったケースでは相談者と共に地域包括支援センターに赴き指導を仰いだ。地域住民と関わり合う、茶話会・敬老日の交流会・ちょきん運動等に参加する。一度お目にかかると次の事柄がスムーズに運びそこに信頼感が芽生える。

中央南地区(活動歴18年)



私達民生委員は小学校中学校での挨拶運動を続けています。特に内野小学校は戸神台から通う児童が増えています。NT大橋を渡って通学します。歩行者専用道はありますが横に広がり、対向する自転車と接触が心配です。駅に向かい急ぐのと坂になるのとでスピードが出ています。月曜と金曜PTAの役員と橋の上に立ち見守りと挨拶します。もう8年近くになりますがこれからも続けていきます。中学校は月1回第3月曜日校門前で挨拶しています。

印旛地区(活動歴3年)



洗濯物を干していると隣の方が手伝いに来てくれたり、後ろ隣の方が電話をかけて安否を心配してくれたりと助け合いが当たり前にできている地域です。しかし、一人暮らしの方が年々増えているため毎日の生活に不安を感じることも多いようです。地域の良さであるつながりを継承していきたいと考えます。

本塙地区(活動歴1年4か月)



教育現場を退職後、地域へ貢献していこうと思い、町内会役員など積極的に引き受けました。そんな中、声がかかったのが民生委員の仕事でした。周囲の人からは、大変な仕事で嫌な思いをすることもある、などの声も聞かれたが、地元地域への貢献と考え、引き受けました。まだまだ分からぬことだけであるが、責任を果たしていきたいと思います。

主任児童員(活動歴12年)



地域の方から相談を受けた民生児童委員や、私達に直接相談してくださった保護者・関係者の方の心配そうな顔。それが、主任児童委員と話すことで少しホッとした表情に変わるその時が、私達のやりがいにつながります。独りで、家で、不安を抱え込まないでください。私達はしっかり話を聴いて、解決のヒントを一緒に探します。

相談から支援へ「つなぐ」・地域を「見守る」